



2014年12月2日
在日米国商工会議所

ACCJ会頭にジェイ・ポナゼッキを再選出

在日米国商工会議所（ACCJ）は、2015年会頭にジェイ・ポナゼッキを再選出しました。2期目の任期開始日は2015年1月1日です。

今回の再選出についてポナゼッキ会頭は次のように述べています。「ACCJの会頭に再選出されたことを大変光栄に思います。また、同じく今回の選挙で選出されました理事の皆様には祝意を表すとともに、今後も引き続きACCJのミッションであります『日米の経済関係のさらなる進展、米国企業および会員活動の支援、そして日本における国際的なビジネス環境の強化』に貢献できるよう、新任並びに現任の理事のメンバーとともに、様々な課題に対して積極的に取り組んで参ります」

また、ポナゼッキ会頭は続けて「現在だけではなく、2020年以降も会員のニーズを満たせるよう、引続き会員からのフィードバックに耳を傾け、戦略的ビジョンやビジネスプランを継続的に改善しながら、ACCJの理事会並びにビジネスリーダーと力強い目標に向かって協働することを楽しみにしています。また、会員がより多くの情報へアクセスすることや、他の会員との交流に寄与するデジタル・メディアの利活用推進や、情報発信・交流メディアの多様化にも引き続き注力して参ります。さらに、ACCJの多岐にわたる経験や専門性を活かすことによって、米国、日本、さらに日本で活動するその他多くのグローバル企業にとって有益となる重要な分野におけるACCJの政策提言活動を拡大していけると考えています。私たちは、引続き、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の高い水準での締結を支持し、日本や米国、アジア・太平洋地域におけるさらなる経済成長に寄与するポジティブな変革を促すよう、日米両政府並びにその他のステークホルダーのサポートを行って参ります」と述べました。

--略歴--

モリソン・フォースター東京オフィスのパートナー。複雑な国際商取引案件を中心に、幅広い業種の事業に従事する多国籍企業の代理を務める。主に手掛けている案件は公開買付、非公開化、M&A、合併事業、戦略的提携など。また、金融セクター企業およびアセットマネジメント会社も代理しており、投資ポートフォリオ、法令遵守、商事契約、ならびに投資家および運用に関する問題においても支援を行う。日本企業が法令遵守、トレードシークレット、個人情報保護法規程をグローバルに導入する際、また海外企業が日本において事業を開始・展開する際の諸問題や日本における事業に伴う重要な戦略的課題等にも助言を提供している。コロンビア大学バーナード・カレッジおよびニューヨーク大学ロースクール卒。交換留学生として来日した経験を持つ。この3年半は、東日本大震災の被害を受けた東北地方で「ハンズオン東京」による20以上のボランティア活動の中心的な役割を果たしてきた。

ACCJでは同時に、副会頭5名（内1名は中部支部）、理事8名（内1名は中部支部）を選出した。2015年の役員一覧は以下のとおり。

The American Chamber of Commerce in Japan
Masonic 39 MT Bldg. 10F, 2-4-5 Azabudai, Minato-ku, Tokyo 106-0041
在日米国商工会議所 〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル10階
Tel: 03-3433-5381 Fax: 03-3433-8454 Web: www.accj.or.jp

副会頭

<新規選出>

- リアン・カッツ（モンデリーズ・ジャパン株式会社 代表取締役社長）
- マリー・キッセル（アボット グローバル・ガバメント・アフェアーズ 日本、中国&アジア
パシフィック バイスプレジデント）
- ジョナサン・クシュナー（クレアブ・ギャビン・アンダーソン株式会社 代表取締役
マネージング・パートナー 日本・アジア代表）
- エリック・セドラック（ジョーンズ・デイ法律事務所 外国法事務弁護士 プロジェクト&
インフラストラクチャープラクティスグループ）

<現任>

- ジェフリー・S・バーニアー（デルタ航空会社 アジア太平洋地区統括本部長）

理事

<新規選出>

- ジェイムス・フィンク（コリアーズ インターナショナル シニア マネージング ディレクター）
- ジョン・D・ハリス（日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 代表取締役社長）
- アーサー・M・ミッチェル（ホワイ特&ケース外国法事務弁護士事務所 シニアカウンセラー）
- サシン・N・シャー（メットライフ生命保険株式会社 取締役 代表執行役 会長 社長
最高経営責任者）

<再選出>

- ジョージ・L・マフェオ（ボーイング ジャパン株式会社 社長）
- 杉原佳亮（インテル株式会社 法務・渉外統括本部 渉外兼政府渉外部長）
- ウィリアム・J・スウィントン（テンプル大学ジャパンキャンパス ディレクター 国際ビジネス
教育）

<現任>

- ティム・ブレット（日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長）
- トーマス・M・クラーク（GE インターナショナル・インク エグゼクティブ・カウンセル
行政渉外部 アジア担当）
- レベッカ・K・グリーン（イー・アール・エム日本株式会社 シニアコンサルタント）
- 丸山純一（シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社 執行役員 ガバメント・
アフェアーズ担当）
- 渡辺弘美（アマゾン ジャパン株式会社 渉外本部本部長）

中部支部**副会頭**<新規選出>

- クリス・E・ザラドカウィッツ（シーザーズインターナショナル株式会社 代表取締役
社長）

理事<新規選出>

- ブリット・J・クリーマー（ロッキード マーチン ティー・エイ・エス インターナショナル
コーポレーション 在日F-2 計画事務所長）

監査役＜新規選出＞

- ジョナサン・P・ボブス（ホブス米国特許事務所 代表）

関西支部**副会頭**＜現任＞

- キラン・S・セティ（株式会社ジュピターインターナショナルコーポレーション 代表取締役社長）

理事＜現任＞

- パトリック・ジョンソン*（日本イーライリリー株式会社 代表執行役社長）

監査役＜現任＞

- クレイグ・マクガヴァン（ヒルトン大阪 副総支配人 財務経理担当）

* ACCJ理事会の承認待ち

以上

###

1408 J**－在日米国商工会議所について－**

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外国経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室（電話: 03-3433-6542; メール: external@accj.or.jp）までお願いいたします。